

研究
Keyword

トランスディシプリナリー、イノベーション、リージョン、
グローバル、テクノロジー、エコシステム、Q/Qヘリックス

プロフィール

2006年 米マサチューセッツ大学 地域経済・社会開発研究科 (RESO) ラブニックラボ
2008年 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究調査センター
2013年 国立大学法人金沢大学 大学教育開発・支援センター
2016年 独立行政法人国立高等専門学校機構富山高等専門学校 国際ビジネス学科/専攻科
2019年 キングモンクット工科大学 管理経営学部(兼任・現地赴任)
2022年 本学奉職

研究分野

Regional Innovation System

所属学協会

公益事業学会, 研究・イノベーション学会

専門分野・研究分野

地域社会・産業システムの競争優位性

地方における地域経済社会の内発的な形での発展は、グローバルに普遍的な課題です。多くの地方地域は、地域課題の解決を地方公共政策にゆだねるにとどまり、プロダクティブなイノベーションの創出にはつながっていません。内発的な地方経済の発展がなかなか実現できないという地域課題は、日本の根幹的な全体課題であるといえます。現在注力している研究領域は、このような地方地域の課題解決に資する、“新産業を生み出す地域社会システム”を実現すべく産学官ネットワークに着目し、そのための共創の在り方に言及するものです。ここでの共創とは、研究・開発～製品化・事業確立・産業化に係る一連の技術連携・共創活動を指しています。

他方、近年顕著である地方地域の衰退等といった社会的課題に対処すべく、社会科学領域の大学機能(教育・研究)をより活用した地域社会貢献への、自律的に機能する組織的取り組みが求められていると感じています。これまでの科学技術を基盤とした産学官による技術連携・共創活動に加え、新たに社会科学領域の学術知を活用した、社会イノベーション創出を実現する産学官共創の可能性についての議論が求められます。社会科学領域の学術研究が現実に応え得るには、支柱としての体系的学術理論のバックボーンが基盤として必要ですが、実際の地域社会・産業システムの競争優位性につなげるには、現況や課題について正しく把握することが大切であり、そのために地域社会や産業界と密接に共創していく必要があります。

研究内容

地域社会におけるイノベーション創出を実現するために

公立小松大学が立地する地域社会は、多くのモノづくり企業が集積する産業地域です。地方創生へ、“新産業を生み出す地域社会システム”の創造を通じて、グローバル社会においていかにローカルな競争優位を成すかを市場経済の視角から多面的に考え、どのように地方地域社会の創成・再生へつなげていけるかについて考えていくことは極めて重要であると認識しています。

例えば大学は、教育と研究という伝統的な役割を維持しつつ、知識の資本化へ、特許権活用、スタートアップ企業の設立に力を注ぐ動線も加わって久しいですが、近年の地域社会創生に係る理論的枠組みは、産学官に加え、市民社会、自然環境も取り入れたエコシステムとして捉え思考していく傾向がみられます。それは、地域社会においてイノベーションをどのように創出していくのかを考えることに留まらず、我々が社会生活を営む経済地域の視角から、国際化に対峙せざるを得ない日本人が意識すべき、グローバル・ローカルの関連性を認識・理解することにもつながっているといえるものです。

Regional Advantage in a Global Economy

シーズ・地域連携テーマ例

- 地域社会・産業システムに関連する諸課題について
- 企業経営に係る諸課題について
- 産業界における人材の育成について

論文

- Regional Revival Through Updated Systems Theory: Dissecting the Evolution in Regional Innovation Research Literature, Intercultural Studies, T.Kiyoshi, Vol.6, pp.45-70, 2024.
- Thailand 4.0 as a Long-Term Economic Policy: Realization of a Self-Sustaining Innovation Ecosystem as a Condition for Becoming a Developed, T. Kiyoshi, Intercultural Studies, Vol.5 pp.33-44, 2023.
- A Survey of Regional Network Characteristics in Rural Areas Contributing Toward Social Innovation, T. Kiyoshi, Research Reports of National Institute of Technology, Vol.9 pp.1-18, 2022.
- Developing a Hypothetical Model for Social Innovation Creation, T. Kiyoshi, Research Reports of National Institute of Technology, Vol.8 pp.1-27, 2021.

書籍等出版物

- 『新産業を生み出す地域社会システム - 産学官によるイノベーションの共創』 清剛治, 中央経済社, 2020 (ISBN : 9784502345715).
- “Educational System Innovation for Regional Economic and Social Development - Revitalization in Lowell, Massachusetts -”, T. Kiyoshi, Hiroaki University Press, 2016 (ISBN: 9784907192334).

講演・口頭発表等

- Frontier in Regional Innovation Systems Research, T.Kiyoshi, International Conference on Management and Education Innovation 2024.
- The Potential of Thailand4.0 to Break Away from Middle-Income Country, T. Kiyoshi, International Conference on Administration and Management 2023.
- 地域社会と大学の共創：経済社会開発と人的資本開発, 清剛治, 大学コンソーシアム富山・学生による地域フィールドワーク研究助成事業基調講演, 2022.
- Factors Affecting Industry-University Co-Creation, T. Kiyoshi, International Social Sciences and Business Research Conference 2022.
- Society 5.0 - Japan's Super Smart Society, T. Kiyoshi, International Social Sciences and Business Research Conference 2021.

競争的資金等の研究課題

- 研究代表者「地方創成に資する産学官連携システムの研究」 JSPS科研費16K04031基盤研究(c), 2016年~2018年度